

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日: 6月22日

作成者: 小嶋 隆弘

会議名: 平成29年度 第一回Dプロジェクト(玉津ホタル祭り・イベント推進プロジェクト)会議

日時: 平成29年6月17日(土)午後7時から午後9時まで

場所: 玉津会館 会議室1他

出席者: 十二里勝美、眞田善之、田中光一、本郷みちる、荒木清

出席者(行政): <玉津会館>小嶋

使用資料:

議題

ホタル飛翔状況調査の報告について

会議要旨

内容

ホタル飛翔状況調査の報告について

今年度のホタル飛翔状況調査について、各プロジェクトメンバーより結果を報告いただいた。

(赤野井)

- ・天神川の諏訪屋敷周辺では工事に伴い半分くらいになったという印象。
- ・(メンバーの家の)近所の水路にもホタルが飛翔していることを知り驚いた。
- ・ホタル調査員の親子と出会う機会があった。

(矢島)

- ・例年調査している三反田川では、山科川との合流地点から30m下流側までホタルの飛翔が確認できた。またメロン街道から上流側でも10匹から15匹程度の飛翔が確認できた。
- ・矢島荒見の在所内の水路でも飛翔が新たに確認できた。

(石田)

- ・3年間調査してきた中では、最も多かったという印象。
- ・調査員の親子の皆さんと一緒に調査が出来て良かった。

(十二里)

- ・今年度は例年と比べると多かった。柳の木があり、そこに飛び交うホタルがクリスマスのイルミネーションのようで、見ごたえがあった。ランニングや散歩で見に来られる方も多かった。

(ホタル調査員の飛翔状況調査について)…事務局より説明

- ・プロジェクトメンバーの調査した場所と被るところもあるが、新たな飛翔箇所もいくつか確認された。
- ・調査していただいていた中でここでは発生しないという場所も多く報告をいただいている。
- ・親子の時間が作れて良かった、ホタルが見れて良かった等のご意見をいただいている。

(その他)

- ・風の強い日が多かった。日によって、草にとまっている数が多かったり、飛んでいる数が多い日があった。

- ・飛翔数が多い場所での環境はどうなっているか。

→天神川の諏訪屋敷周辺では、生垣になっている。十二里の四屋角川ではコンクリートも張っているが、間に土があり、草も生えている。今年度は草が刈られていなかったことも影響してか、多くのホタルが発生したと思われる。また、水もしっかり流れており、干上がることがない。

決定事項

飛翔状況結果を受け、調査報告会等の検討を行う。

次回以降について

メンバーや関係機関と調整を行い、必要に応じて部会を開催する。

会議要旨

内容

(今後について)

- ・今回、親子で調査していただいた経緯もあるので、結果の報告会等を設けたい。
- ・玉津小学校と連携して、公開授業として、(4年生が取り組む)ホタル学習の一環で取り組めないだろうか。
- ・ホタルの活動については、将来的には自治会単位で行っていただくようお願いしていかなければならないと思う。
- ・ホタル祭りについて、仮に実施するのであれば、調査結果の報告や観賞会などを兼ねて考えてみてはどうか。

会議終了後、大曲ヘイケボタル観賞会に参加。

参加時間: 午後8時から午後9時頃まで

参加メンバー: 5人(事務局含む)

目的: 今後のプロジェクトの活動において、ホタル祭りやホタル観賞会等を行うときのための参考とするため。

- ・多くの参加者でにぎわっており、親子で見に来られている方が多かった。
- ・間近でヘイケボタルを観賞することが出来、ゲンジボタルと比較しての大きさや光り方の違いが良く分かった。
- ・観賞場所まで移動するにあたり、誘導および足元の安全のため、足元に灯りがともされていた。
- ・駐車場も複数用意しており、誘導員がおられた。
- ・周りに民家が少ない田んぼで観賞できるので、近隣の方に迷惑がかかりにくい場所である。
- ・受付や上記の駐車場の誘導係など実施にあたり多くのスタッフが必要で、現在の当プロジェクトでこの規模のホタル祭りを開催するのは現状では厳しく、開催地や駐車スペースの検討、地元自治会の協力、灯り(光)とホタルとの調和など多くの条件をクリアして、このような観賞会が開催できると感じた。